Belfix
ベルフィクスパネル
【 取扱説明書 】

この度は、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書は、製品の使い方と使用上の注意を記載していますので、ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。また、その後はこの説明書を大切に保管して下さい。

目　次

組立に必要な工具

14mmスパナ
直線パネルに付属しています。

＋ドライバー
お客様でご準備下さい。

安全上のご注意

この製品を安全に、また末永くご使用いただくために次の事項を必ず守って下さい。

⚠ 注意

・可動部のすきまに手を入れないで下さい。 ・間仕切の用途以外には使用しないで下さい。	けがをすることがあります。
・風があたる場所に設置しないで下さい。 ・パネルに寄りかかったり、ぶら下がったり、上に乗らないで下さい。 ・物を立てかけないで下さい。	倒れてけがをすることがあります。
・パネルを連結したまま移動しないで下さい。 ・指定のパーツ以外は取り付けないで下さい。 ・パネルのコーナーに物を載せないで下さい。	落下してけがをすることがあります。
・ボルトやネジがゆるんだままで使わないで下さい。 ・フックには、５ｋｇ以上の物を吊るさないで下さい。 ・異常を発見したままで使わないで下さい。	本体が壊れて、けがをすることがあります。
・ガラス面を強く押したり、物をぶつけたりしないで下さい	ガラスが割れてけがをすることがあります。
・暖房器具や火のそばに近づけて使わないで下さい。 ・配線コードの上を踏んだり、傷つけないで下さい。	火災になることがあります。
・分解や改造をしないで下さい。	製品が破損し、けがをすることがあります。
・廃棄するときは、専門業者におまかせ下さい。	焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

使用上のご注意

・直射日光やストーブなどの熱が直接当たる場所で使用しないで下さい。
　変色や変形の原因になります。

・屋外では使用しないで下さい。又、水のかかる場所や湿度の高い場所に、設置しないで下さい。
　パネルが変形したり、サビや故障の原因となります。

・パネルにイスや掃除機などを、ぶつけないで下さい。
　表面材を傷め、製品の破損につながります。

・傾斜している床や、凹凸のある場所での使用は避けて下さい。
　製品の転倒などの原因になります。

・レイアウト変更する場合は、購入先にご相談下さい。

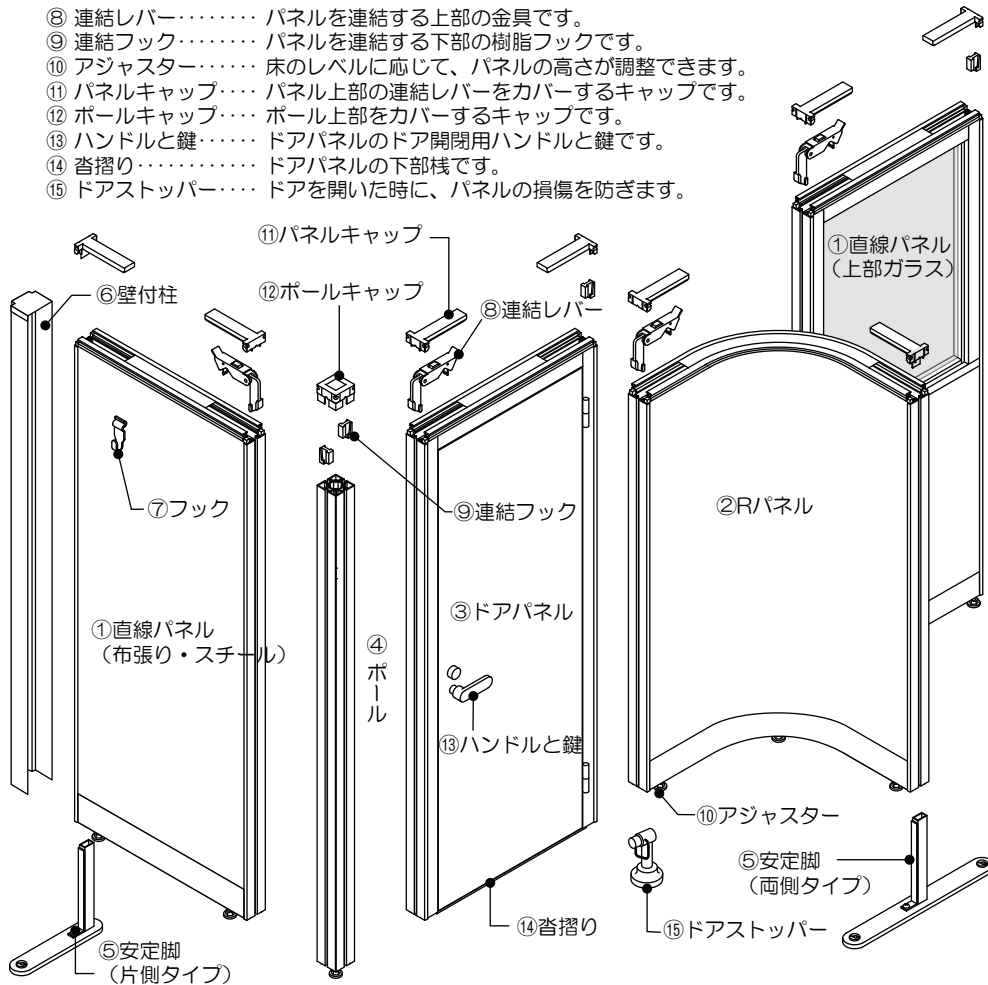
構成部品

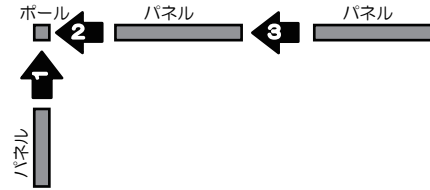
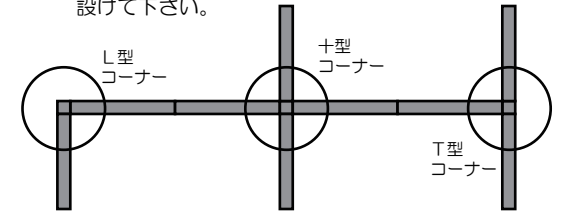
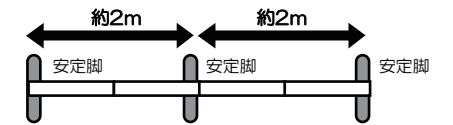
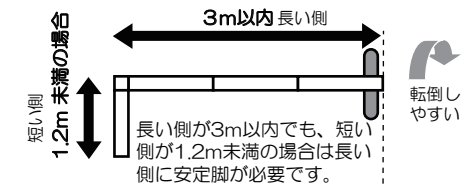
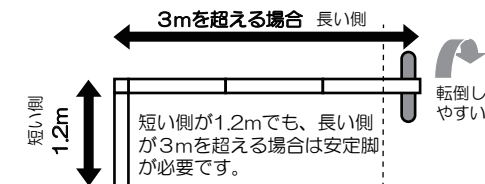
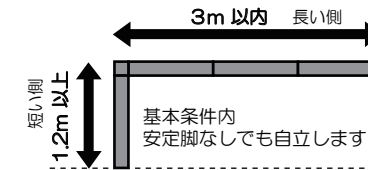
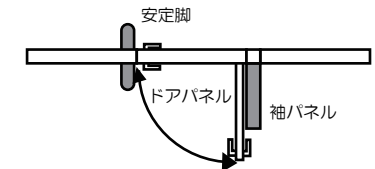
ベルフィクスパネルは、下記の製品と付属部品で構成されています。

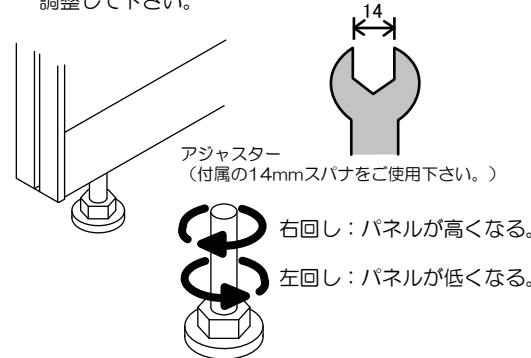
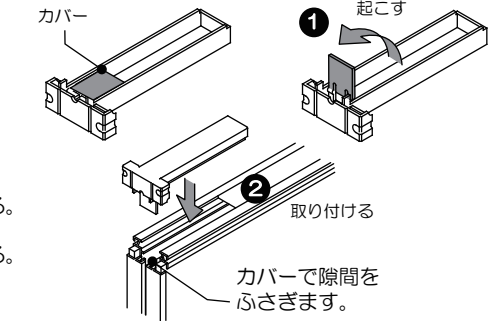
【 製　品 】

① 直線パネル‥‥‥‥ フラットなパネルで、さまざまな幅と高さがあります。
（パネル面は、布張り・スチール・全面ガラス、上部ガラスから選べます）
② Rパネル‥‥‥‥‥ 曲面（90゜）形状のパネルです。
③ ドアパネル‥‥‥‥ ドア機能を装備した直線パネルです。
④ ポール‥‥‥‥‥‥ L型・T型・十型に連結する場合に必要です。
（く型レイアウトには、135゜ポールが必要です。）
⑤ 安定脚‥‥‥‥‥‥ 直線のみのレイアウトや不安定なレイアウトの際使用する、パネルの安定性を高めるものです。両側タイプと片側タイプがあります。
⑥ 壁付柱‥‥‥‥‥‥ パネルの壁面固定や、隙間を調整できます。
⑦ フック‥‥‥‥‥‥ ボードなどを引っ掛ける為の専用フックです。

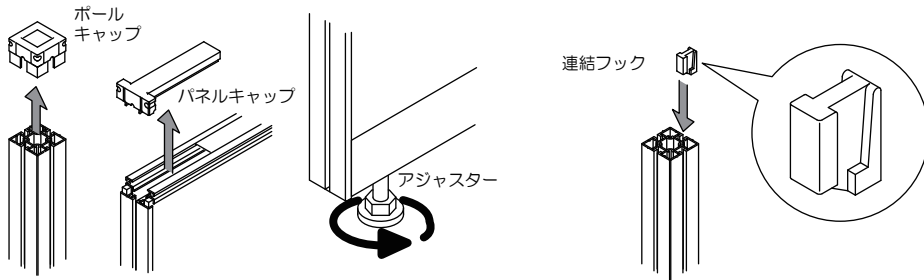
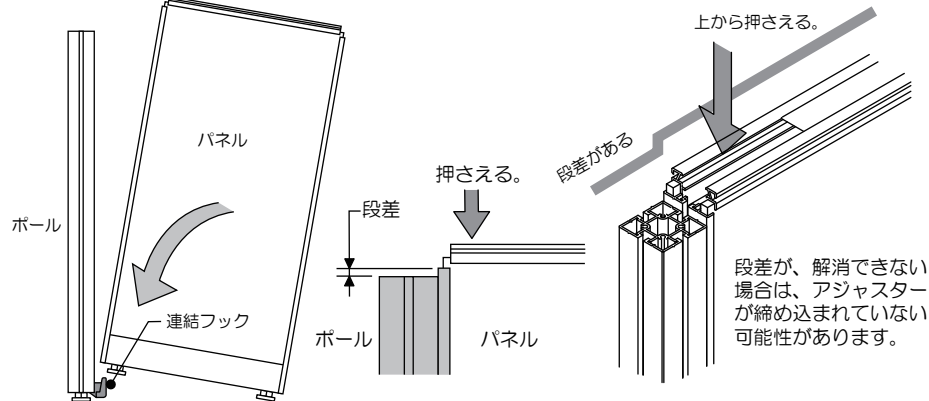
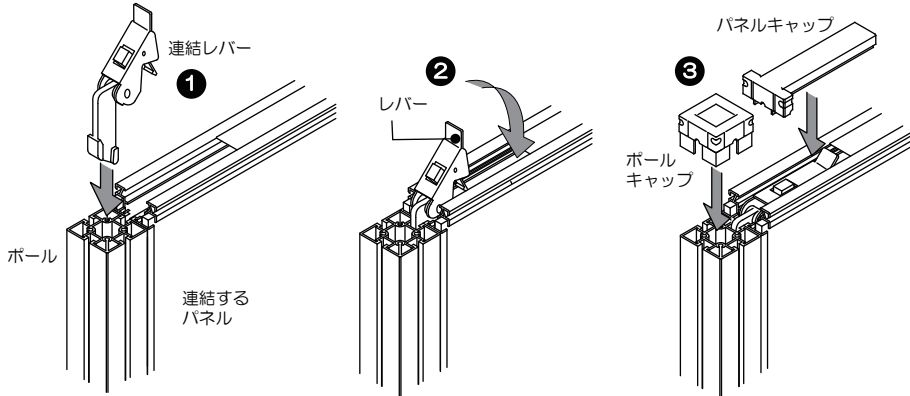
【 付属品 】

⑧ 連結レバー‥‥‥‥ パネルを連結する上部の金具です。
⑨ 連結フック‥‥‥‥ パネルを連結する下部の樹脂フックです。
⑩ アジャスター‥‥‥ 床のレベルに応じて、パネルの高さが調整できます。
⑪ パネルキャップ‥‥ パネル上部の連結レバーをカバーするキャップです。
⑫ ポールキャップ‥‥ ポール上部をカバーするキャップです。
⑬ ハンドルと鍵‥‥‥ ドアパネルのドア開閉用ハンドルと鍵です。
⑭ 沓摺り‥‥‥‥‥‥ ドアパネルの下部桟です。
⑮ ドアストッパー‥‥ ドアを開いた時に、パネルの損傷を防ぎます。

レイアウトの注意点

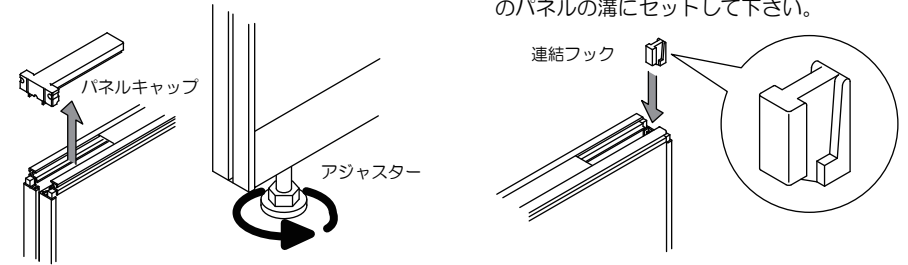
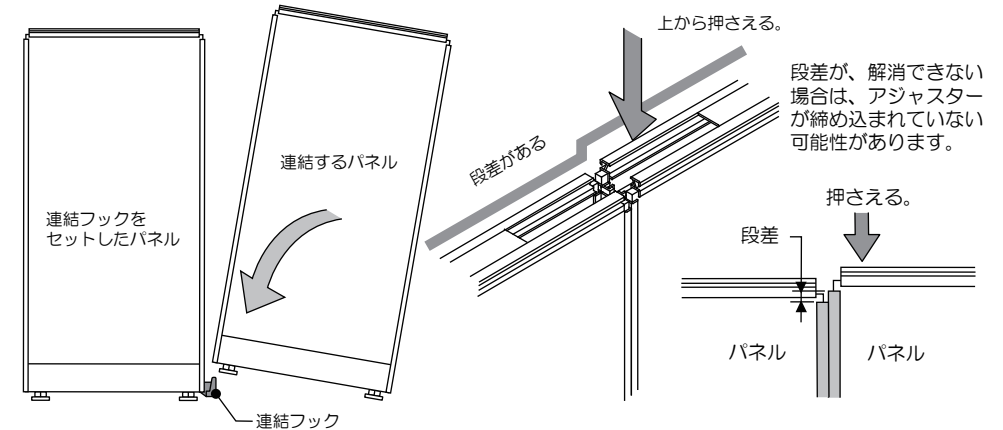
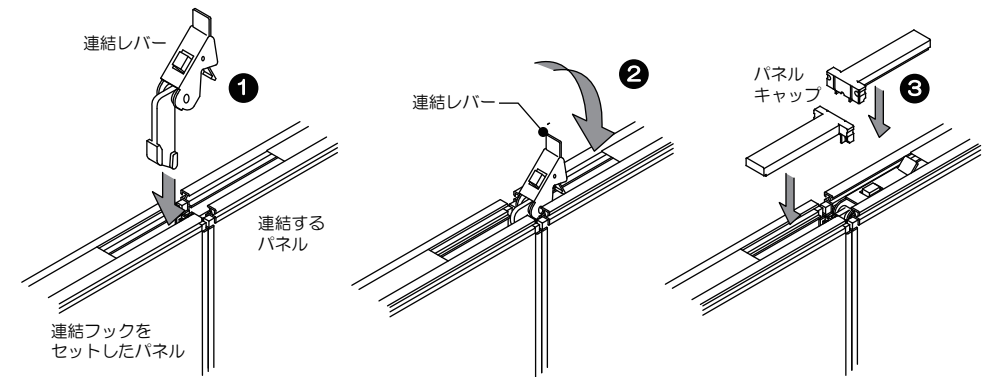
■ 組立は必ずポールからスタートして下さい。

■ 安定性を高める為に、なるべくコーナー部を設けて下さい。

■ パネルの自立及び安定脚設置の目安
（パネルの高さにより変わります、ガラスパネルを使われる場合は、別途購入先にご相談下さい。）

直線レイアウトの場合、2mを目安に安定脚が必要です。

直線レイアウトでドアパネルを設置する場合は、安定脚を設置し、ドア本体が開く側に必ず袖パネル（W450）を設置して下さい。
（コーナーに設置する場合は、必要ありません）

■ パネルを連結する毎に、アジャスターでレベルを調整して下さい。

■ レイアウトの最後（端）では、パネルキャップのカバーを起こして、取り付けて下さい。

ポールとパネルの連結方法

1．連結するポールとパネルのキャップを外して下さい。
アジャスターを全て締め込んで下さい。

2．連結フックの向きに注意しながらポールの溝に上部から落としてセットて下さい。

3．連結フックをセットしたポールに、連結するパネルを少し傾けるようにして引っ掛けて下さい。
（パネルの縁アルミとポールに段差があれば、上からしっかり押さえて下さい。）

4．図のように連結レバーの黒い樹脂部分を、ポール上部から奥まで差し込んで下さい。
次に、連結レバーのレバー部分を倒し固定して下さい。（「パチン」と音がすれば連結されています。）最後に外したキャップを戻して下さい。

パネルとパネルの連結方法

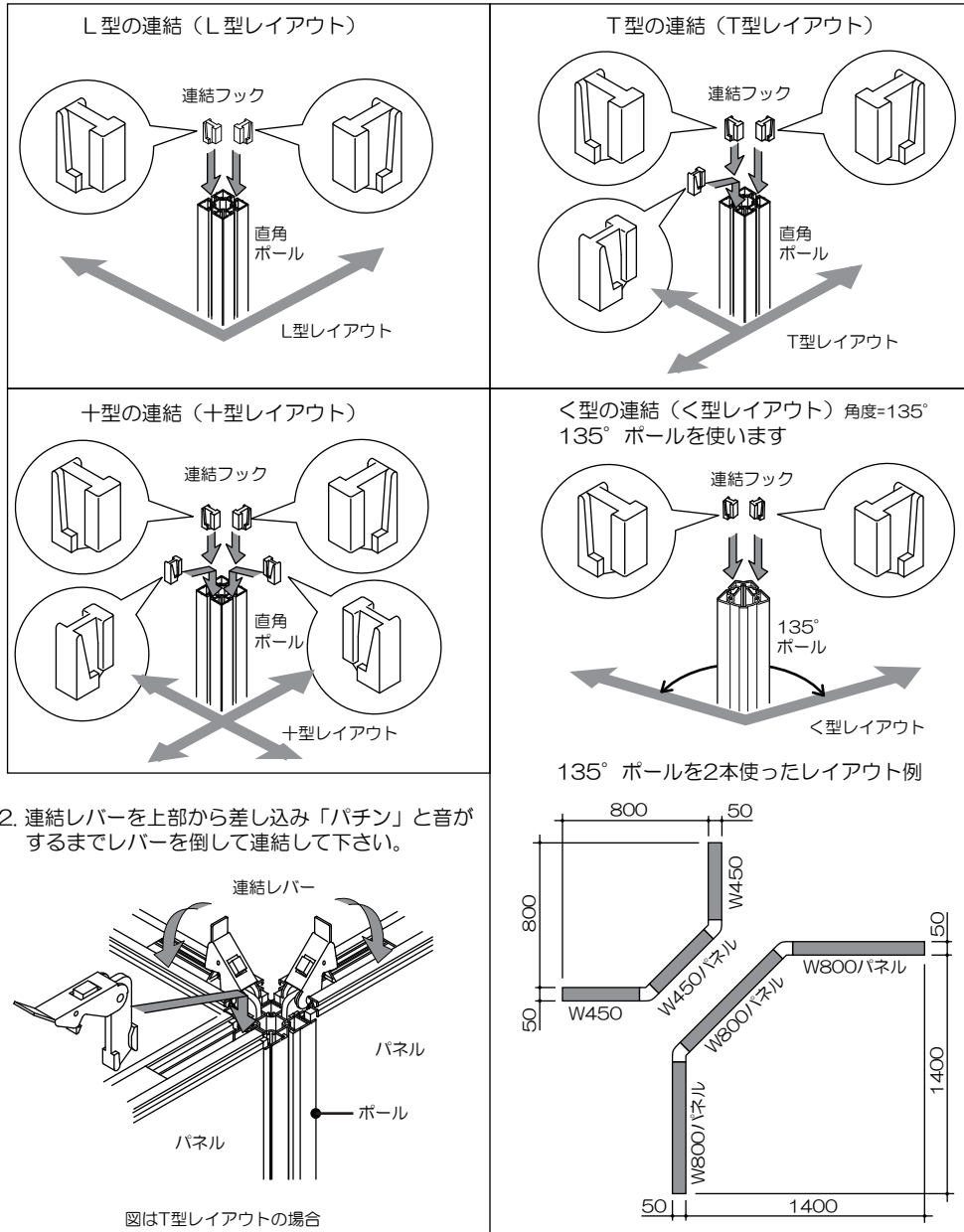
1．パネル上部のパネルキャップを外して下さい。
アジャスターを全て締め込んで下さい。

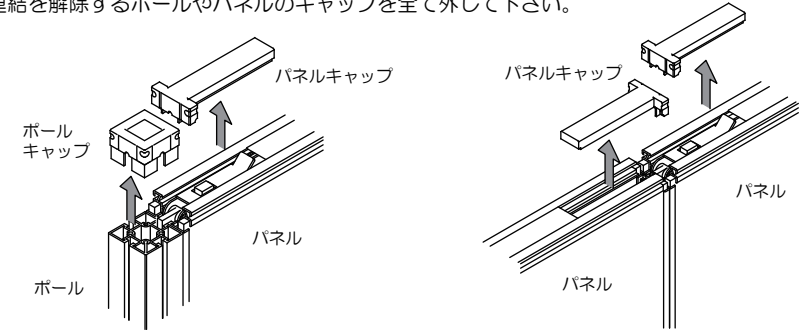
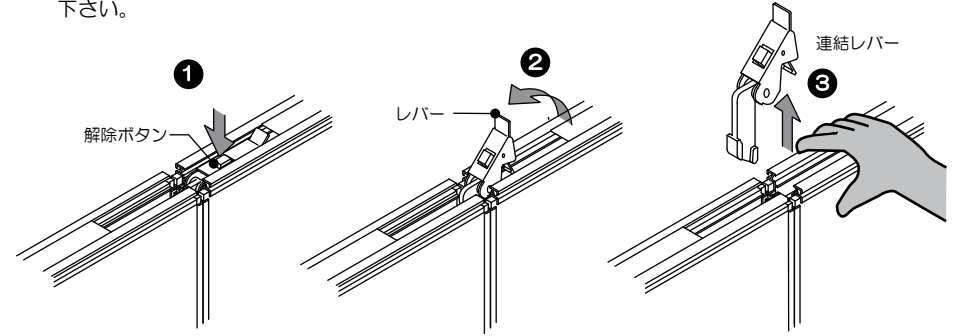
2．連結フックの向きに注意しながら、片側のパネルの溝に上部から落としてセットして下さい。
高さの違うパネルを連結する場合は、高い方のパネルの溝にセットして下さい。

3．連結フックをセットしたパネルに、連結するパネルを少し傾けるようにして引っ掛けて下さい。
（パネルの縁アルミに段差があれば、上からしっかり押さて下さい。）

4．図のように連結レバーの黒い樹脂部分を、パネルの溝上部から奥まで差し込んで下さい。
次に、連結レバーのレバー部分を倒し固定して下さい。（「パチン」と音がすれば連結されています。）最後に外したキャップを戻して下さい。

L型・T型・十型・く型の連結

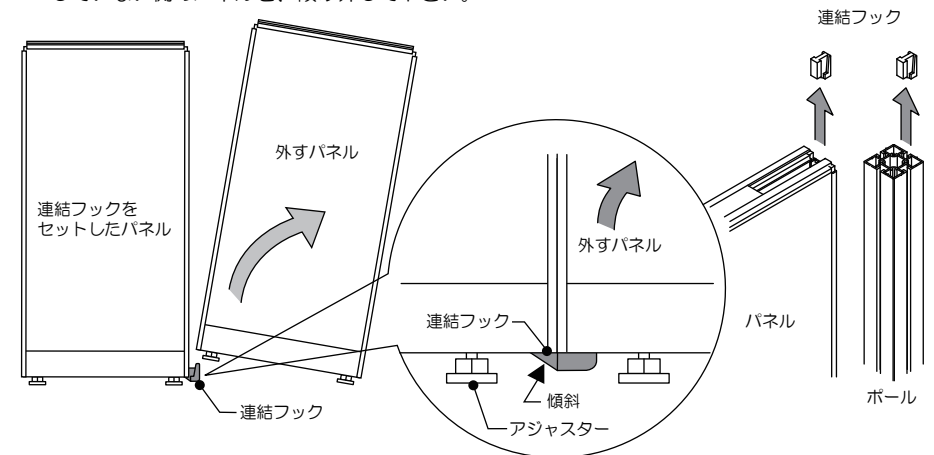
直角ポールで L型、T型、十型のレイアウトが、135゜ポールで く型レイアウトができます。

1. 連結フックの向きに注意し、レイアウトするポールの溝に上部から落としてセットして下さい。

2. 連結レバーを上部から差し込み「パチン」と音がするまでレバーを倒して連結して下さい。

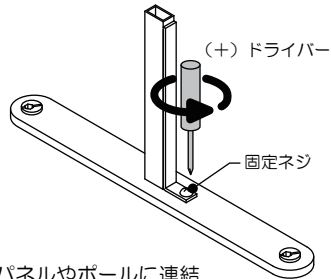
図はT型レイアウトの場合

連結の解除

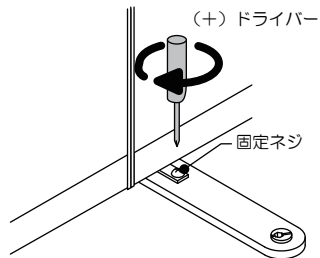
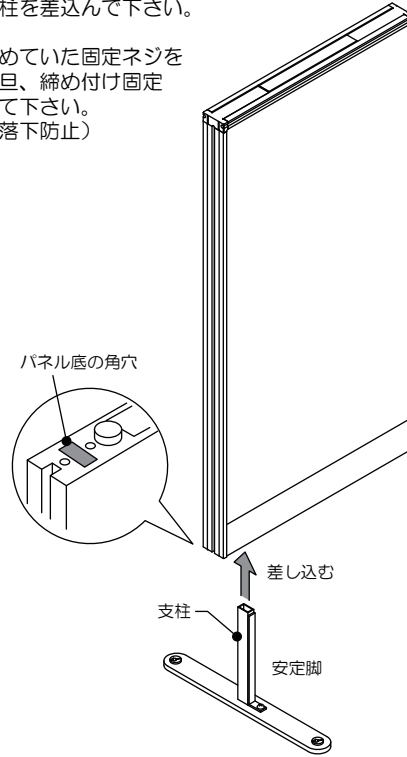
1．連結を解除するポールやパネルのキャップを全て外して下さい。

2．連結レバーの解除ボタンを押さえながらレバーを起し、連結を緩めて下さい。
次に、外すパネルやポールを倒れないように、手でささえながら連結レバーを抜き取って下さい。

3．パネルを傾け、連結フックから外して下さい。
パネルが外れない場合は、連結フックの向きが逆になっていることがあります。その時はパネル下の連結フックの傾斜していない側のパネルを、傾け外して下さい。

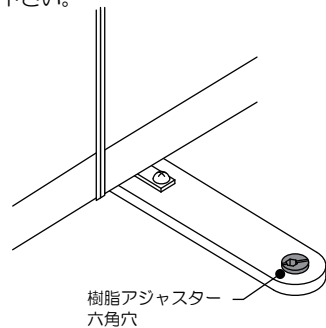
4、連結フックを抜き取って下さい。

安定脚の取り付け

1．安定脚を固定するネジが緩んでいることを確認して下さい。
（ネジが締まっていると取付できません。）

2．パネルの底面にある角穴に安定脚の支柱を差込んで下さい。

緩めていた固定ネジを一旦、締め付け固定して下さい。
（落下防止）

3．パネルやポールに連結
安定脚を取り付けたパネルをP．5～6の手順でパネルやポールに連結して下さい。

4．固定ネジを緩め、安定脚を床に設置させた上で、再度固定ネジを締め付け、安定脚を固定して下さい。

5．アジャスターの調整
安定脚がガタつく場合は、先端の樹脂アジャスターを、付属のスパナで回して調整して下さい。（コイン等でも回せます）

6．アンカーボルトで床固定する場合
樹脂アジャスターの六角穴を使って市販のアンカーボルトで固定する事もできます。

アンカーボルトの施工については、購入先にご相談下さい。

ドアパネルの組立と連結

1．ドアを９０゜開いた状態で持ち上げ、ドア枠の蝶番から外して下さい。

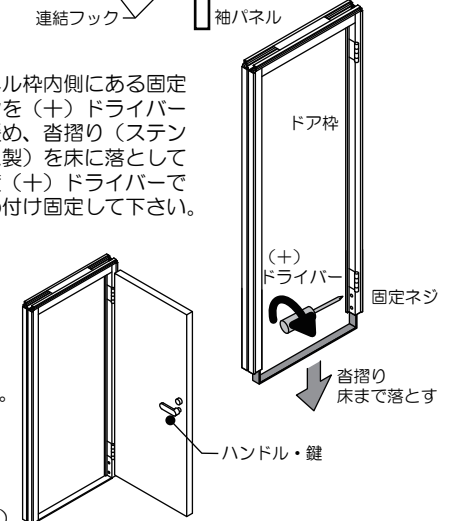
ドア枠上部のパネルキャップを外して下さい。

2．ドアの両隣のパネルを設置した後、P．5～6の手順で、最後にドア枠をパネルやポールの連結フックに上から載せるようにして、連結して

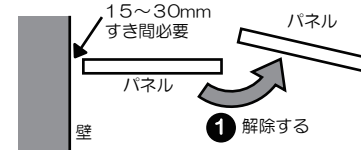
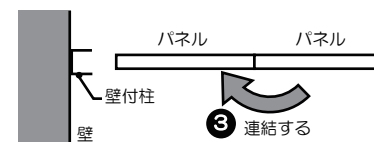
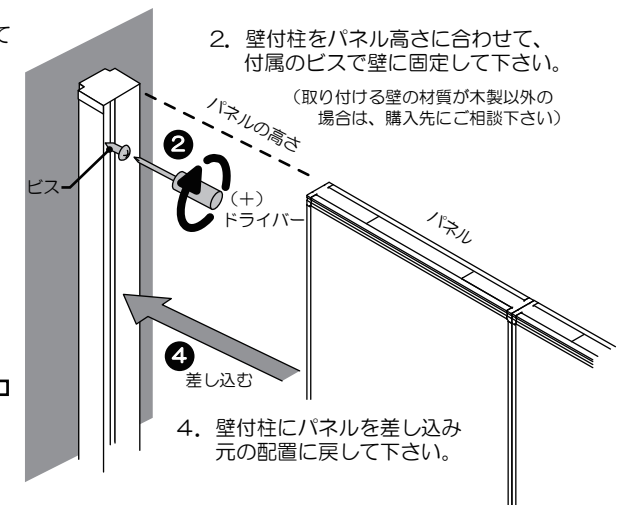
3．パネル枠内側にある固定ネジを（＋）ドライバーで緩め、沓摺り（ステンレス製）を床に落として再度（＋）ドライバーで締め付け固定して下さい。

4．外したドアを、ドア枠の蝶番に差し込み戻して下さい。

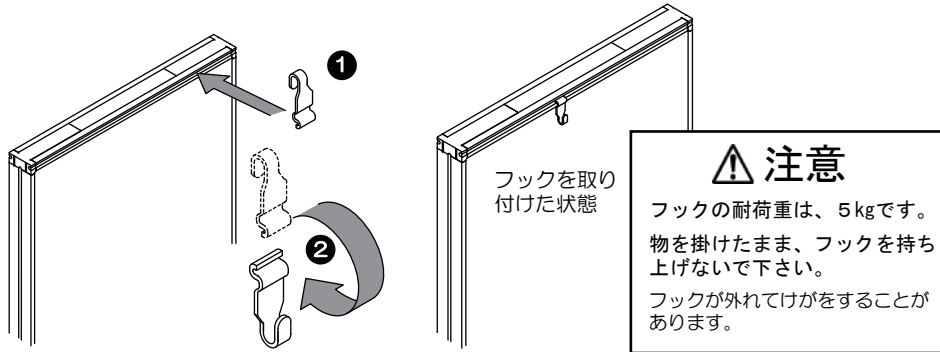
5．ハンドルと鍵を、錠前に付属の説明書を見ながら組立てて下さい。

6．最後に外したパネルキャップを戻して下さい。
（必要に応じて付属のドアストッパーをご使用下さい。）

壁付柱の取り付け

【 注 意 】　レベル（高さ）調整後に、壁付柱の取り付けを行って下さい。
壁付柱を取り付けるには、あらかじめパネルと壁面のすき間が､15～30mm必要です。

1．配置した壁際パネルの連結を解除して下さい。（解除方法　P．8）

3．パネルを連結して下さい。
（連結方法　P．6又はP．5）

2．壁付柱をパネル高さに合わせて、付属のビスで壁に固定して下さい。
（取り付ける壁の材質が木製以外の場合は、購入先にご相談下さい）

4．壁付柱にパネルを差し込み元の配置に戻して下さい。

フックの取り付け

フックを逆さ向きでパネル上部の溝にあて、半転しながら引っ掛けて下さい。

こんなときは

現　　象	対　　策
■ **パネルがガタガタする。** パネルや安定脚のアジャスターが床から浮いていませんか？	アジャスターでレベル調整して下さい。
■ **パネルがグラグラ揺れる。** 連結レバーが、緩んでいませんか？	連結レバーが、しっかり固定されているか確認して下さい。
■ **パネルキャップが入らない。** 連結レバーの黒い樹脂が奥まで入っていますか？	連結レバーを一旦解除して、黒い樹脂を奥までしっかり差込み、再度連結して下さい。

お手入れ方法

- ■ 通常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。
- ■ ほこりなどの汚れは、衣類用のブラシなどで軽くブラッシングして下さい。
- ■ 布地のシミは、ぬるま湯か中性洗剤をしみ込ませた布で軽く叩くように落として下さい。
- ■ 布地以外の部分でよごれがひどい場合は、薄めた中性洗剤を湿らせた柔らかい布で汚れをとり、硬くしぼったタオルなどで洗剤を拭とった後、空拭きして下さい。
- ■ シンナーやアルコール系の溶剤は、絶対に使用しないで下さい。布地を傷めたり、塗装が剥がれる原因になります。
- ■ 飲み物をこぼした場合は、すぐに拭き取って下さい。そのまま放置しますと汚れがとれにくくなります。

材質

- ■ フレーム‥‥‥‥ アルミ（一部スチール）
- ■ クロスパネル‥‥ 表面材：布（ポリエステル100%）
芯材：インシュレーションボード・ペーパーコア
- ■ スチールパネル‥ 表面材：スチール、芯材：インシュレーションボード・ペーパーコア
- ■ ガラスパネル‥‥ 表面材：ガラス、ガラス押え：ＰＶＣ樹脂
- ■ 巾　木‥‥‥‥‥ スチール
- ■ 連結レバー‥‥‥ スチール・POM樹脂・ＰＡ樹脂
- ■ 安 定 脚‥‥‥‥ スチール・ＰＡ樹脂
- ■ キャップ‥‥‥‥ ＡＢＳ樹脂
- ■ アジャスター‥ スチール・ＴＰＥ樹脂
- ■ 連結フック‥‥ ＰＡ樹脂
- ■ 壁付柱‥‥‥‥ アルミ、スチール
- ■ フック‥‥‥‥ スチール

保証について

保証期間は、社団法人日本オフィス家具協会（ＪＯＩＦＡ）のガイドラインに準拠して、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年間	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変色・退色、クロスの磨耗
2年間	機構部・可動部	スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障
3年間	構造体	強度・構造体にかかわる破損

（1）次のような場合には、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。
　イ）ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び破損。
　ロ）お買い上げ後の無理な取り扱い・輸送・落下などによる故障及び破損。
　ハ）火災・塩害・ガス害・地震・風水害・落雷・その他天災地変による故障及び破損。

（2）保証期間経過後の修理は、有償にて承ります。

（3）商品の修理内容や必要期間につきましては、お買い上げの購入先までご連絡問い合わせ下さい。

この製品を譲渡される場合は、この【取扱説明書】も必ず添付して譲渡して下さい。
その他、ご不明の点などがありましたら、購入先までご連絡下さい。

■ このマークは、資源リサイクル·廃棄問題に関するメーカーの社会責任を明確にするために、JOIFA（社団法人日本オフィス家具協会）に登録してある当社の番号です。

JOIFA 609

■ 廃棄する時は専門業者におまかせ下さい。焼却すると有毒ガスが、発生することがあります。

■ その他、商品に関するお問い合わせは、購入先へご相談下さい。

購入先

< 製造元 >

〒541-0053　大阪市中央区本町1丁目8－12
TEL（06）－6263－4577（代）
ホームページURL　http://www.seikofamily.co.jp

2008.12